



Painter®

20  
18

レビュアーズ ガイド

# 目次

Corel Painter 2018 の概要 .....	3
アーティストのプロファイル .....	5
製品内容 .....	8
最小システム要件 .....	9
主要機能 .....	10
厚塗り ペイント .....	10
「溶かし」と「リキッド」のブラシ テクノロジー .....	14
厚塗り テクスチャ ブラシ .....	16
ナチュラル メディア ブラシ ライブラリ .....	18
ランダムな粒子感の回転 .....	18
選択ブラシ ツールと選択ブラシ .....	19
クローン作成のワークフロー .....	21
テクスチャ合成 .....	23





## Corel® Painter® 2018 の概要

Corel® Painter® 2018 は最もリアルなデジタルアート スタジオです。多くのプロのクリエイターやデジタルアーティストが、Corel Painter なくして自らのデザインプロセスは成り立たないとする理由はたくさんありますが、中でも特に支持されているのは、そのペイント ツールとワークフロー機能です。

忠実で熱心なユーザーたちは、建設的な意見や、制作に使用したツール、技法および作品などを共有することで、Painter の発展のために積極的に参加してくれています。このようなユーザーフィードバックやアドバイスが、ペイントやワークフローの革新に役立てられています。

パワーと多様性に富んだ Corel Painter の画期的なデジタルペイント ツールは、他のペイントプログラムの基準となっています。その豊富なペイントツールは、伝統的な技法に匹敵するすばらしい能力を備えるだけでなく、ユーザーにデジタルアートの可能性を無限に広げる術を与えます。

Corel Painter の各バージョンでは、たえず新しいツールや機能が追加され常識を覆してきました。その例として、最近のリリースに含まれるテクスチャペインティングやパーティクルブラシ、ダイナミックスペックルなどがありますが、それらはすぐさまデジタルアート界の基準となっています。Corel Painter 2018 においても同様に、さまざまなクリエイティブ部門やワークフローですばらしい威力を発揮する革新的な機能が提供されています。

新たに加わった厚塗りペイントでは、アーティストは他では味わうことができないデジタルペイントを体感することができます。これは驚くべき精度で厚塗りの見た目と雰囲気を模倣したもので、伝統的な画材をモチーフにしたブラシが用意されています。また、特に人気の高かったブラシの一部は、下層のブラシストロークや透過色とブレンドする新しい



オプションによりさらに万能になりました。近年 Painter に加わり、高い評価を受けていたテクスチャペインティングは、2.5D ストロークを適用する新しい厚塗り テクスチャによりさらにダイナミックになりました。

Corel Painter が市場の他のペイント プログラムと一線を画す存在である理由として、アートのワークフローを加速化し、創作プロセスをシンプルにする機能があります。改良された UI と新しいクローン ソース オプションにより、これまで以上に簡単に写真や複合作品を制作できます。新しいテクスチャ合成機能により、あらゆるタイプのアーティストが唯一無二のダイナミックなテクスチャを作ることができます。そしてこれも新機能の選択ブラシ ツールにより、ブラシストロークを適用するような感覚で簡単に画像領域の保護を行うことができます。

まずはお試してください。きっと、実感していただけるはずです – Corel Painter 2018 はデジタルアートの可能性を無限に広げるということを。

# アーティストのプロファイル

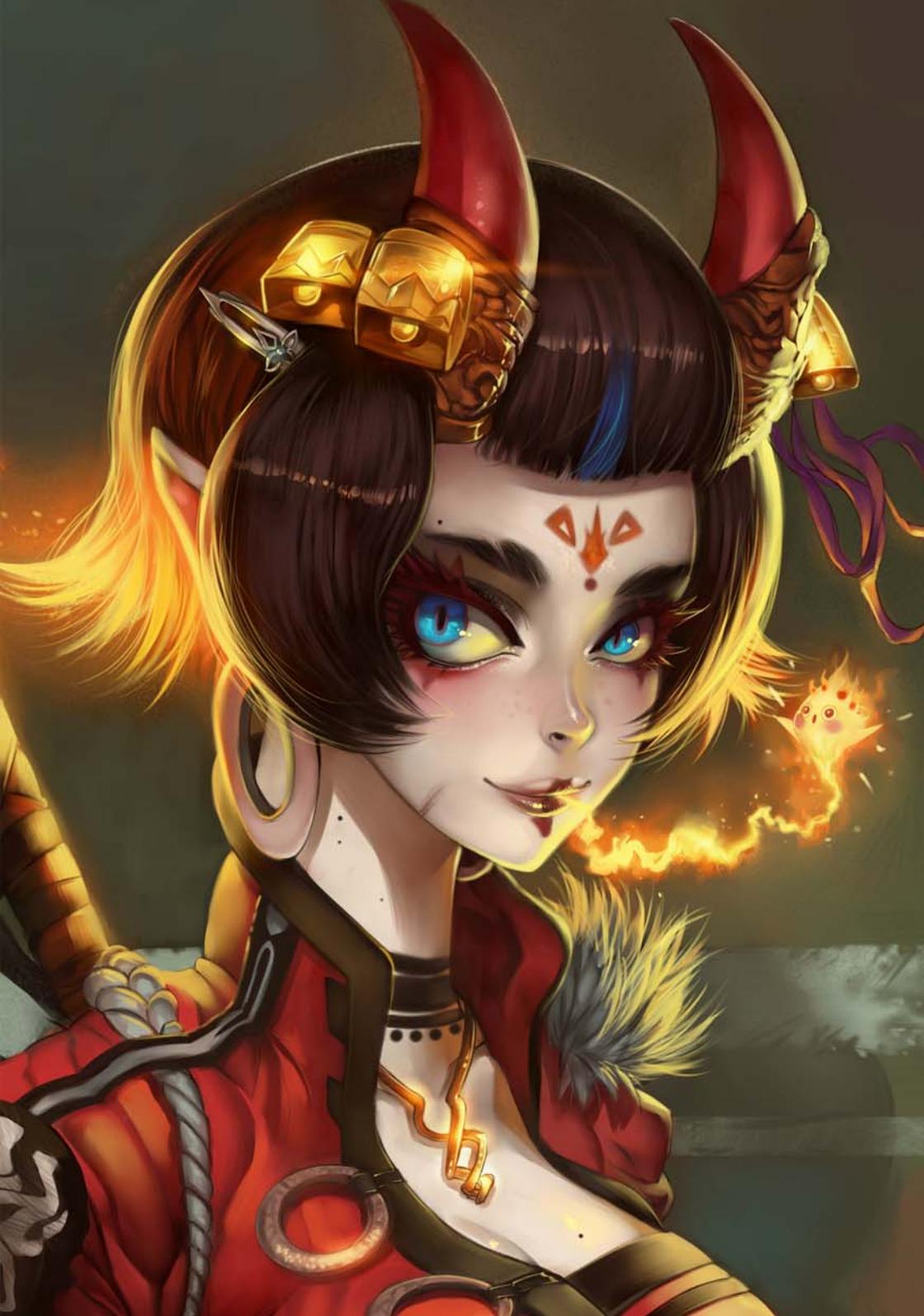
## コンセプト アーティスト

Corel Painter 2018 は、コンセプト アーティストがそのワークフローの随所で使用できる強力で多彩な機能を提供します。ブラシバリエーションに不規則性を与えられるため、コンセプト アーティストは、従来の効果と使用感を持つツールで描きながら、無限に広がる創造の世界を自由に探求することができます。最適な効果が定まれば、コンセプトの各要素がどんなに精密でもすぐに対応できるツールが、Corel Painter 2018 には備わっています。

## イラストレーター

イラストレーターは、正確で迅速、かつ自信をもって作業にあたる強力で多種多様な Painter のツールセットを活用しています。キャラクター作成から、イラストレーションやパッケージデザイン、販促物の出力まで、Corel Painter 2018 には、イラストレーターのビジョンに命を吹き込み、観る者をそのストーリーにいざなうために必要なすべてのアートツールが詰まっています。アイデアの最初のスケッチから完全なデザイン画までを、視覚的にとらえ表現するのに最適なプログラムです。Corel Painter を置いてほかに、伝統的な技法からデジタルアートへシームレスに移行できるプログラムはありません。現実世界でどんな画材を使用してきたとしても、Painter にはそれに対応する画材があるため、これまでと変わらず、しかし今までより断然速く、作品を仕上げることができます。





## 漫画およびコミックアーティスト

スケッチ、描画、ペン入れなどのためのさまざまなツールも備える Corel Painter 2018 は、漫画およびコミックアーティストがきらりと光る独自のスタイルを確立できる最高のデジタルアート プログラムです。水彩画から油彩、リキッドインクまで、ほとんどの作品には従来の技法が必要となりますが、それを凌駕することで有名なのが Painter です。Painter には、明確ですっきりした線、大胆なエフェクト、微妙な陰影を作るために必要なツールをすべて揃えています。スケジュールがタイトな場合でも、総合的な構成、対称ツール、直観的なカラーマネージメント機能を利用して作業を進められます。コンセプト作りから、生き生きとした色彩で作品に息を吹き込みインパクトのある作品に仕上げることのできるツールは、Painter のほかにありません。

## フィン アーティスト

Corel Painter 2018 は、現在販売されているプログラムの中で、伝統的な技法からデジタルアートへ最もスムーズに移行できるプログラムです。芸術家は古典的なアートの手法と伝統的な技術を最先端の Natural-Media 技術に簡単に融合させることができるため、実際のキャンバスに描くのと同じように素晴らしいデジタル アートを作成できます。Corel Painter 2018 なら、デジタルアート スタジオでのみ可能なやり直し機能があるため、貴重な時間を節約することができます。さらに、有害なガスや高価な画材を扱う必要もありません。



## フォトアーティスト

強力な自動ペイントおよびクローン作成ツールに加え、Painter 2018 独自のイメージペイント機能により、フォトアーティストは、写真に捕らえられたその一瞬をデジタルアート作品に変身させることができます。視覚的に美しい絵画や、瞬時に商品となりえるフォトアートの制作に必要なすべてが揃っています。

## 学生 / 教職員

Painter は、すべての新進アーティストの強力な味方です。また、アートに関するカリキュラムに必要な不可欠なコンポーネントとしてご利用いただけます。実際の画材の効果と使用感を忠実に再現し、アートの基礎をシンプルに実現できる遠近法および構図の機能を持つデジタルツールです。Corel Painter 2018 を使うと、学生が従来のアート技法を最も自然な方法で効果的に習得することができる上、実際の画材の準備に伴う費用や手間を省くことができます。

## 製品内容

### メイン アプリケーション

- Corel Painter 2018 (macOS® 版および Windows® 版)

### コンテンツ

- 独自のブラシ、グラデーション、ノズル、パターン、テクスチャおよび用紙テクスチャ用ライブラリ

### 付属文書

- HTML 形式のヘルプ (Windows) および Apple ヘルプ (Macintosh®) ファイル
- オンライン ユーザー ガイドおよびスタートアップ ガイド (PDF)
- Welcome スクリーン
- [youtube.com/paintertutorials](https://www.youtube.com/paintertutorials)
- [painterartist.com](https://www.painterartist.com)



## 最小システム要件

### macOS® バージョン:

- macOS® X 10.12、10.11 または 10.10 (最新アップデート適用)
- Intel® マルチコア プロセッサ (64 ビット サポート)  
(論理コア 4 個以上推奨)
- 2 GB 以上のメモリ (8 GB 以上を推奨)
- 1 GB のハード ディスク空き容量 (アプリケーション ファイル用)  
(ソリッドステート ドライブ 推奨)
- マウスまたはタブレット
- 1280 × 800 の画面解像度 (1920 × 1080 を推奨)
- DVD ドライブ (ボックスのインストールに必要)

### Windows® バージョン:

- 最新のサービスパックがインストールされた Microsoft® Windows® 10 (64 ビット)、Microsoft Windows 8.1 (64 ビット) または Windows 7 (64 ビット)
- Intel® Core 2 または AMD Athlon™ 64 プロセッサ (2 Ghz 以上)  
(論理コア 4 個以上推奨)
- 2 GB 以上のメモリ (8 GB 以上を推奨)
- 1 GB のハード ディスク空き容量 (アプリケーション ファイル用)<sup>1</sup>
- マウスまたはタブレット
- 1280 × 800 の画面解像度 (1920 × 1080 を推奨)
- DVD ドライブ (ボックスのインストールに必要)
- Microsoft® Internet Explorer® 11 以降 (最新アップデート適用)

どちらのオペレーティング システムの場合も、製品をアクティブ化するには、まずインターネットに接続して製品を登録する必要があります

**アップグレード対象:** 以前のバージョンの Painter をお使いの場合は、特別なディスカウント価格で Painter 2018 にアップグレードしていただけます。ただし、体験版、アカデミック版、OEM 版および非商用 (NFR) 版は対象外です。

1. Microsoft .NET Framework 4.6 用に追加の空き容量が必要になる場合があります



## 主要機能

Corel Painter 2018 は、最も表現力豊かなデジタルアート スタジオです。

## ペイント ツール

Painter には、アーティストにインスピレーションを与え、無限の創造性を自由に発揮することを可能にする膨大なペイント ツールのコレクションが備わっています。

### 新機能！厚塗り ペイント

デジタル アーティストたちあらゆるペイント プログラムの中で Corel Painter が突出している点を尋ねると、いつも1つの答えが返ってきます。それは、古典的なアートの手法と伝統的な技術を最先端のナチュラル メディア技術に簡単に融合させることができることです。今回もこの伝統が引き継がれた Corel Painter 2018 では、驚くべき精度で厚塗りの見た目と雰囲気を模倣した厚塗り ペイントが導入されました。

厚塗り ペイントのブラシは、画材店によくある伝統的な画材をモチーフにしています。ユーザーの期待を裏切らない感覚と動作を実現できるように慎重に作られたプリスルブラシとパレット ナイフが数多く用意されています。

この新しいブラシには、本物の絵具と変わらない、顔料とボリュームを持つペイントが使われます。つまり、スタイラスの筆圧、傾き、回転を使って、塗り重ねたり、押ししたり、引いたり、削ったりすることができるのです。こうしたバリエーションは、多彩でスケラブルなブラシ ロードを実現します。これにより、これまで以上に UI ではなく作品自体に集中できるようになります。ロードしたペイントの量と色が表示されるカーソルのおかげで、簡単なキーボード ショートカットやドラッグを使うだけで、自由自在かつ正確にブラシをロードすることができます。



本物の画材を使ったときと同じように、中にペイントの隆起があるストロークを作ることができます。しかし、隆起が盛り上がって見える一番の要素は、やはりストロークの谷間にできる影です。

このため Painter では、影の強度と環境光を調整して、ブラシストロークの奥行きを作ることができるようになりました。さらに、ブラシストロークの透明度を微調整する機能と用紙のテクスチャがペイントとどのように混ざるかをコントロールする機能のおかげで、さらに可能性が広がりました。

厚塗り ペイントのプロパティバーにはペイント テクニックのプリセットが用意されている他、ここからすぐにアクセスできる設定を使えば、ブラシからペイントがなくならないようにしたり、既存のブラシストロークの上に新しいブラシストロークを適用したときの混ざり方をコントロールすることができます。これにより、すぐに優れた仕上がりを味わうことができます。また、さらに凝った仕上がりを求めるユーザーのために、コントロールを変更できる厚塗り ペイント パネルが新しく用意されました。



厚塗り ペイント ブラシを使うと、自然な絵具のタッチを損なうことなく厚塗りと従来のインパストを表現することができます。

アートワーク：Collin Chan



## 試してみる

### 厚塗り ペイントの作業

- 1 [ファイル] ▶ [新規作成] を選択して、新規ドキュメントを作成します。
- 2 ブラシ セレクタをクリックし、[厚塗りペイント] ブラシ カテゴリをクリックし、[粒子感(色乗せパレットナイフ)] ブラシ バリエーションを選択します。
- 3 パレット ナイフのペイントがなくなり始め、用紙テクスチャが見えるまで1つの連続したブラシストロークをキャンバスに適用します。

[ペイントのロード] ボタン  をクリックし、書類内をドラッグしてブラシをロードすることで、ブラシストロークとブラシストロークの間のロードされるペイント量を調整することができます。マウスを使っている場合は、ペイントのロードを 15% に設定します。

- 4 プロパティバーで、[テクスチャセレクタ] ボタン  をクリックし、新しい用紙テクスチャを選択します。
- 5 さらにブラシストロークを適用し、新しい用紙テクスチャによってペイントの混ざり具合がどのように変化するかを確認します。
- 6 ペイントのロードを増やし、キャンバスにブラシストロークを適用することで、大量のペイントを塗り重ねて奥行きを変化させます。
- 7 [キャンバス] ▶ [キャンバス面の照明] を選択します。
- 8 [キャンバス面の照明] ダイアログボックスで、[環境光] 領域の [輝度] スライダと [影の強度] スライダを動かすことで、厚塗りペイントに対する照明効果を試します。



粒子感(色乗せパレットナイフ)(左)、  
用紙テクスチャを表現(中央)、照明効果の比較(右)



## 試してみる

### 厚塗り ペイントの作業

- 1 [ファイル] ▶ [新規作成] を選択して、新規ドキュメントを作成します。
- 2 ブラシ セレクタの [厚塗りペイント] ブラシ カテゴリから [粒子感 (リアルブリスル油彩平筆)] バリエーションを選択します。
- 3 キャンバスにブラシストロークを数回適用します。
- 4 [カラー] パネルで新しい色を選択し、既存のブラシストロークの上にペイントして色をブレンドします。
- 5 プロパティ バーで、[厚塗り ペイント - ブラシ] パネルの表示 ボタン  をクリックします。
- 6 [厚塗り ペイント - ブラシ] パネルで、[にじみ] スライダを 0% に動かします。
- 7 既存のブラシストロークの上にペイントします。  
にじみ設定が低いほど、新しいブラシストロークが既存のブラシストロークとブレンドしにくいことを確認します。
- 8 プロパティ バーの [ツールのリセット] ボタン  をクリックしてブラシをリセットします。
- 9 プロパティ バーで、[テクニック] ボタン  をクリックし、スムーズで平坦で滑らかなブラシストロークをペイントできる [ソフト] プリセットを選択します。
- 10 キャンバスにブラシストロークを数回適用します。
- 11 [テクニック] ボタンを再びクリックし、[細描き] プリセットを選択します。これを使うと細いブラシストロークをペイントすることが可能で、既存のストロークを軽く塗りつぶし、用紙テクスチャをある程度見せることができます。
- 12 キャンバスにブラシストロークを数回適用します。  
テクニック プリセットごとのブラシストロークによって生まれる違いを確認します。



粒子感 (リアルブリスル油彩平筆) - にじみが高い (左)、にじみなし (中央)、細描きテクニックのプリセット (右)



## 機能強化! 「溶かし」と「リキッド」のブラシ テクノロジー

Painter 2018 では、「溶かし」と「リキッド」のテクノロジーを使ったブラシがさらに万能になりました。

たとえば、サージェント ブラシは Painter で最も人気のあるブラシ バリエーションの1つです。その豊かなブラシストロークのためアーティストたちからの評価が高いサージェント ブラシですが、今回、空のレイヤーで使用して現在選択している色を油彩のような透明感でブレンドさせることが可能になりました。また、溶かしまたはリキッドのテクノロジーを使うバリエーションを使って下層のレイヤーから色を拾い上げることもできます。さらに、ブラシ テクノロジーのこの進化により、あらゆるタイプのアーティストが素晴らしいブラシの恩恵を受けることができ、さらに可能性が広がります。



## 試してみる

機能された「溶かし」と「リキッド」のブラシテクノロジーの使用

- 1 [ファイル] ▶ [新規作成] を選択して新しい書類を作成し、[レイヤー] パネルの [新規レイヤ] ボタン  をクリックして新しいレイヤーを作成します。
- 2 ブラシ セレクタをクリックし、[サージェント] ブラシ カテゴリをクリックし、[リアルブリスルソフト] バリエーションを選択します。
- 3 [カラー] パネルの [クローンカラー] ボタン  をクリックします。
- 4 プロパティバーで、[クローンソース] ピッカーをクリックし、[ソース] リストボックスから [テキストチャ] を選択し、テキストチャを選択し、[テキストチャを表示] チェックボックスをオンにします。
- 5 テクスチャの上からペイントします。続いて [レイヤー] パネルの [新規レイヤ] ボタンをクリックして、新しいレイヤーを作成します。
- 6 [カラー] パネルの [クローンカラー] ボタンをクリックして色のクローンを無効にします。
- 7 適用したブラシストロークの上からペイントします。続いて [レイヤー] パネルの [新規レイヤ] ボタンをクリックして、新しいレイヤーを作成します。
- 8 [レイヤー] パネルで、[下の色を拾う] ボタン  をクリックします。
- 9 [カラー] パネルの [クローンカラー] ボタンをクリックし、プロパティバーの [クローンソース] ピッカーをクリックし、他のテキストチャを選択します。
- 10 適用した両方のブラシストロークの上からペイントします。
- 11 プロパティバーで、[クローンソース] ピッカーをクリックし、[テキストチャを表示] チェックボックスをオフにします。
- 12 [レイヤー] パネルで、レイヤーのオン / オフを切り替えて仕上がりを確認します。空のレイヤーで行ったペイントが下層のレイヤーに影響を与えることなく下層の色とブレンドしていません。
- 13 [下の色を拾う] ボタンを再びクリックしてこれを無効にします。



## 新機能! 厚塗り テクスチャ ブラシ

驚くべきリアル感を生み出す能力のためコンセプト アーティストやキャラクター デザイナーから高い評価を受けているテクスチャ ペインティングが、Painter 2018 でさらなる進化を遂げました。

新しい 2.5D 厚塗り テクスチャ ブラシによるストロークは、キャンバスから飛び出さんばかりの感覚をもたらします。本物らしい爬虫類のキャラクターを作りたい場合は、キャンバスから飛び出てくるような厚塗りのエキゾチックなうろこを描くことができます。また、より実物に近い肌を作りたい場合は、厚塗り テクスチャ ブラシを使って毛穴を描き、指向性光源や奥行き感を調整することでさらにリアルなものにすることができます。



## 試してみる

厚塗り テクスチャ ブラシを使ったペイント

- 1 サンプル ファイル [3Dmodel.png](#) を開きます。
- 2 ブラシ セレクタをクリックし、[テクスチャソースのブレンド] ブラシ カテゴリをクリックし、[ステンシル ソフト エンボス 2.5D] ブラシ バリエーションを選択します。
- 3 プロパティバーの [テクスチャ セレクタ]  をクリックし、[色落ち] をクリックします。
- 4 プロパティバーで、[可視範囲] ボックスに 25 と入力し、[テクスチャを表示]  ボタンをクリックします。
- 5 3D モデルをペイントします。
- 6 [キャンバス] ▶ [キャンバス面の照明] を選択します。
- 7 新しい照明を追加する照明球体をクリックします。クリックした箇所に、新しい照明インジケータ (小さな円) が表示されます。
- 8 球体上の新しい位置に照明インジケータをドラッグして効果を試します。

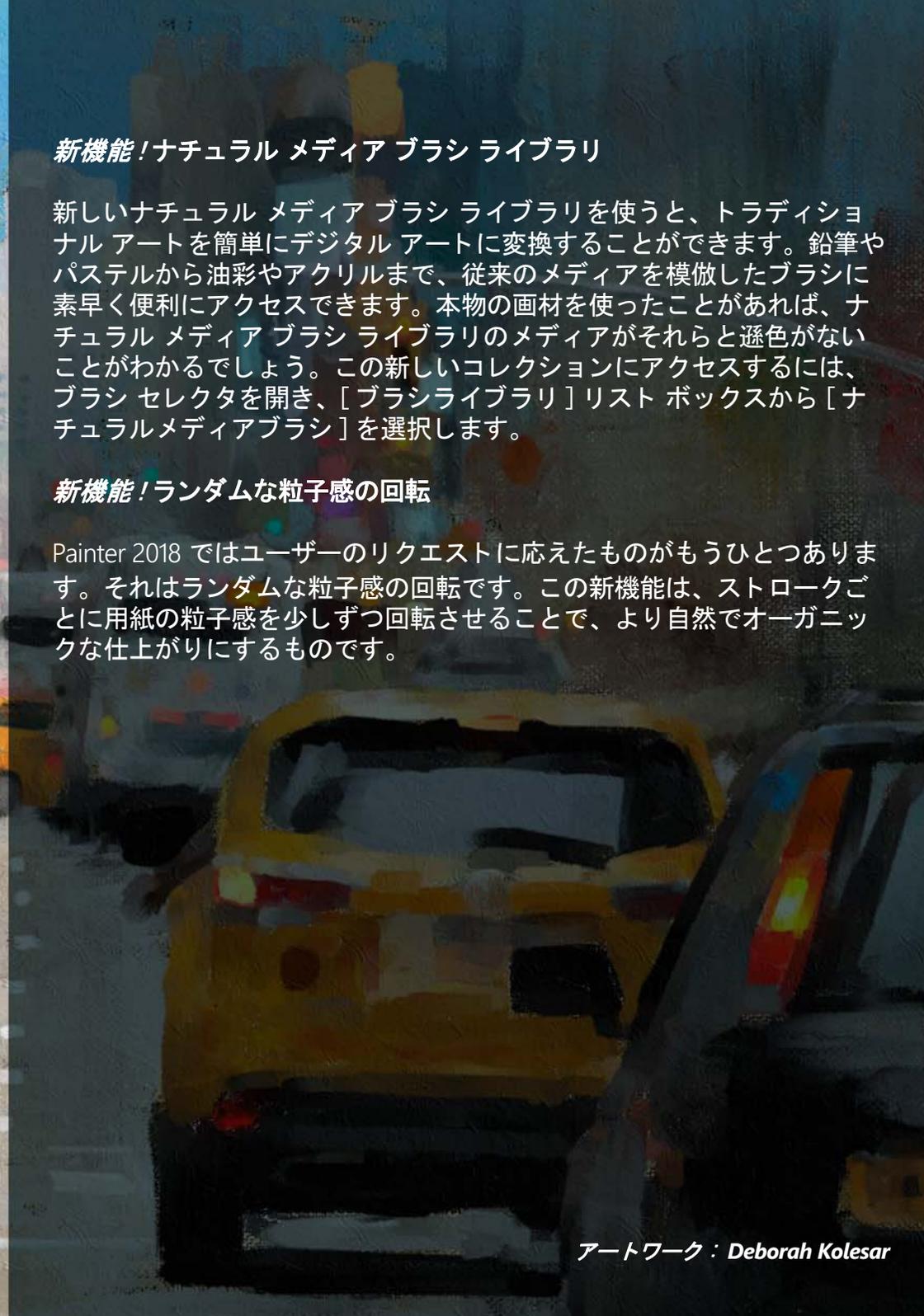


### 新機能! ナチュラル メディア ブラシ ライブラリ

新しいナチュラル メディア ブラシ ライブラリを使うと、トラディショナル アートを簡単にデジタル アートに変換することができます。鉛筆やパステルから油彩やアクリルまで、従来のメディアを模倣したブラシに素早く便利にアクセスできます。本物の画材を使ったことがあれば、ナチュラル メディア ブラシ ライブラリのメディアがそれらと遜色がないことがわかるでしょう。この新しいコレクションにアクセスするには、ブラシ セレクトを開き、[ブラシライブラリ] リスト ボックスから [ナチュラルメディアブラシ] を選択します。

### 新機能! ランダムな粒子感の回転

Painter 2018 ではユーザーのリクエストに応えたものがもうひとつあります。それはランダムな粒子感の回転です。この新機能は、ストロークごとに用紙の粒子感を少しずつ回転させることで、より自然でオーガニックな仕上がりにするものです。





## ワークフロー ツール

一連のワークフロー ツールと機能強化により、ユーザーのニーズに合わせてワークフローをカスタマイズし、ペイント作業を効率化することができます。

### 新機能! 選択ブラシ ツールと選択ブラシ

デジタル アートのワークフローにおいて選択は欠かせない要素です。このため Corel Painter 2018 では、画像の領域を分離させる必要があるときの選択肢を増やしました。

ブラシストロークを適用するときと同じくらい簡単かつ正確に選択を作成することができれば、どれほどの時間が節約されるでしょうか？新しい選択ブラシ ツールがその答えです。選択された領域と保護された領域を簡単に見分けることができるように、ストロークを適用すると色のオーバーレイが表示されるようにすることができます。オーバーレイは作業中の書類に合うように微調整できます。

複雑な形状や画像領域の作業時の選択作成に特化して設計された新しいバリエーションが揃う、新しい選択ブラシ カテゴリが用意されています。また、スタンプ ベースのブラシ バリエーションを選択ツールに変えるオプションもあり、さらに柔軟性が向上しています。

さらに、ブラシはペイントのために使っている場合と同じように微調整することが可能で、再利用できるようにカスタム選択バリエーションとして保存できます。そしてアーティストたちの意見に応え、Painter 2018 には様々な選択の改善が盛り込まれています。



## 試してみる

### ペイントによる選択作成

- 1 イメージを開きます。
- 2 ツールボックスで [楕円形選択ツール]  をクリックします。
- 3 書類内をドラッグして、領域を選択します。
- 4 ツールボックスで [選択ブラシ] ツール  をクリックします。
- 5 プロパティバーで、[描点オプション] ボタン  をクリックし、描点タイプを選択します。
- 6 プロパティバーの [選択範囲に追加] ボタン  をクリックし、楕円形の選択範囲に追加する領域をペイントします。
- 7 プロパティバーの [選択範囲の保存]  をクリックし、[選択範囲の保存] ダイアログ ボックスで選択範囲に名前を付け、[OK] をクリックします。  
保存した選択範囲が [チャンネル] パネルに表示されます。
- 8 ブラシ セレクタをクリックし、[選択ブラシ] ブラシ カテゴリをクリックし、様々なバリエーションを試します。
- 9 ツールボックスで、[インタラクティブ グラデーション] ツール  をクリックし、アクティブな選択範囲内をドラッグしてグラデーションを適用します。



## 機能強化! クローン作成のワークフロー

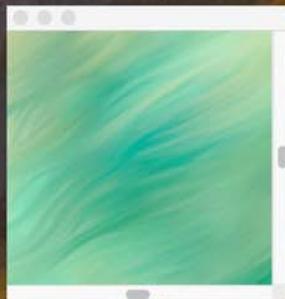
Painter 2018 では、人を引き付ける合成写真をより簡単に作成することができます。クローン機能が様々な面で強化されたため、フォトアーティストたちはこれまで以上のことを、これまで以下の時間で実現することができます。Painter 2018 で新しく導入された透明度のクローンサポートにより、さらに洗練された合成写真を作成することができます。コラージュの作成時に、透明および半透明のクローンソースを使用できるようになりました。これにより、合成ですべての要素が自然に混ざり合います。さらにより正確な透明度のクローンのために、ブラシの描点の中心から色を拾い上げる正確なクローンオプションがあります。フォトアーティストは、テクスチャをクローンソースとして使用できるようになりました。変形をテクスチャのクローンソースに適用できるため、サイズや形状を変更して簡単かつ直感的に合成を作成することができます。UI は合理化されており、クローンソース間を簡単に切り替えることができます。クローンのコントロールは刷新され、作業スペースが広がりました。それでいて、よく使われる設定への簡単なアクセスは失われていません。重要なクローンコントロールは、すべてプロパティバーのフライアウトから簡単にアクセスできます。どんなクローン作業を行う場合でも、Painter 2018 がユーザーの期待を裏切ることはありません。クローン作成にトレーシングペーパーを使うか十字カーソルを使うかは、ユーザー次第です。また、再利用したいクローンソースがある場合は、画像とともに埋め込みソースとして、またはテクスチャとしてテクスチャライブラリに保存することができます。このため、いつでも指先ひとつで呼び出すことができます。さらに、クローンソースを書類に埋め込むオプションもあります。この機能のおかげで、作業に戻ったときにソースを探す時間が節約され、また他のフォトアーティストたちとの共有がより簡単になります。



## 試してみる

### テクスチャのクローン作成

- 1 [ファイル] ▶ [新規作成] を選択して新しい書類を作成し、幅を 1800 ピクセル、高さを 1000 ピクセルにします。
- 2 ブラシ セレクタをクリックし、[クローン] ブラシ カテゴリをクリックし、[キャメルインパスト 2] ブラシ バリエーションを選択します。
- 3 プロパティ バーで、[クローンパネルの表示 / 非表示を切り替えます] ボタン  をクリックします。
- 4 [クローンソース] パネルで、[ソース] リスト ボックスから [テクスチャ] を選択し、[コプシ] テクスチャ ([フォト アート] セクション) を選択し、[テクスチャを表示] チェック ボックスをオンにします。
- 5 [レイヤー] パネルの [新規レイヤ] ボタン  をクリックします。
- 6 テクスチャの上からブラシをかけます。続いて、バリエーションを切り替えて、さらにクローンを作成します。[プリスルブレンドクローン]、[粒子フロープリスル(ファインクローン)]、[粒子ばね(オイルモップクローン)] を試してみることをお勧めします。
- 7 [クローンソース] パネルで、[テクスチャを表示] チェック ボックスをオフにします。
- 8 [レイヤー] パネルの [キャンバス] レイヤーをクリックします。
- 9 ツールボックスのインタラクティブ グラデーションツール  をクリックします。
- 10 プロパティ バーで、[グラデーションセレクタ]  をクリックし、[ジャングル植物の緑] を選択し、書類内をドラッグしてグラデーションを適用します。
- 11 プロパティ バーで、[高速ペイント] ボタン  をクリックし、自動ペインティング スタイルを選択します。
- 12 プロパティ バーの [グラデーションの確定] ボタン  をクリックします。
- 13 ブラシ セレクタをクリックし、[サージェント] ブラシ カテゴリをクリックし、[ドロドロのクラゲ] バリエーションを選択し、花の茎をペイントします。
- 14 [テクスチャ ライブラリ] パネルで、パネル オプション ボタン  をクリックし、[クローンソースイメージとしてのテクスチャの埋め込み] をクリックします。[テクスチャ ライブラリ] パネルが開いていない場合は、[ウィンドウ] ▶ [メディアライブラリパネル] ▶ [テクスチャ] をクリックします。イメージを保存すると、次回ファイルを開いたときにテクスチャは自動的にクローンで使用できるようになります。



構図にシームレスにブレンドする透明のクローンソースを使って自由にペイント。



## 新機能! テクスチャ合成

テクスチャペインティングには無限の可能性が秘められています。コンセプトアーティストやキャラクターデザイナーに愛用されているこの機能は、合成機能の追加によりさらに強力になりました。これにより、テクスチャまたは書類の領域をキャプチャおよび合成し、入力サンプルのあらゆる視覚要素を使ってより大きな規模で再現することができます。合成プロセス中、選択した領域のプロパティはランダム化され、選択した設定に基づいて新しいテクスチャが作成されます。その後これを使ってペイントし、あらゆるテクスチャのブラシストロークにさらに奥行きと細部を与えることができます。

テクスチャ合成により、あらゆるタイプのアーティストが唯一無二の活気に満ちたテクスチャを作ることができます。画像の一部を使うこともできるため、お気に入りのブラシストロークを新しいテクスチャのDNAとして使い、無限の可能性を追求することができます。合成されたテクスチャは他のテクスチャと同じように使うことも、レイヤーにエクスポートすることもできます。

そして Painter 2018 では、テクスチャで塗りつぶすことができます。これは、テクスチャ合成機能を使用して作成したテクスチャの場合も、テクスチャペインティングブラシで使用するためにインポートしたテクスチャの場合も、テクスチャライブラリで見つけたテクスチャの場合も同様です。



## 試してみる

### テクスチャ合成を使ったテクスチャの作成

- 1 新しい書類を作成し、高さと幅を 500 ピクセルにします。
- 2 ブラシ セレクタをクリックし、[エアブラシ] ブラシ カテゴリをクリックし、[荒目スプレーのジッター] ブラシ バリエーションを選択します。
- 3 キャンバスにペイントします。
- 4 ツールボックスから [長方形選択ツール]  を選択し、キャンバスのペイントした領域を選択します。
- 5 [ウィンドウ] ▶ [メディアコントロールパネル] ▶ [合成] を選択して [テクスチャ合成] パネルを開きます。
- 6 [テクスチャ合成] パネルで、[ソース] リスト ボックスから [ドキュメント] を選択し、[送信] 領域で [新規レイヤ] オプションを有効にし、[幅] と [高さ] ボックスに 500 と入力します。
- 7 [開始] ボタンをクリックします。新しく合成されたテクスチャが書類の新しいレイヤーに送信されます。
- 8 もう一度書類を作成し、高さと幅を 500 ピクセルにします。
- 9 ブラシ セレクタをクリックし、[テクスチャ塗潰し] ブラシ カテゴリをクリックし、[彩度 (紗) 2.5D] ブラシ バリエーションを選択します。
- 10 キャンバスにペイントします。
- 11 ツールボックスから [長方形選択ツール] を選択し、キャンバスのペイントした領域を選択します。
- 12 [テクスチャ合成] パネルで、[ソース] リスト ボックスから [ドキュメント] を選択し、[送信] 領域で [テクスチャ ライブラリ] オプションを有効にし、[幅] と [高さ] ボックスに 500 と入力します。
- 13 [開始] ボタンをクリックします。[テクスチャに名前を付けて保存] ダイアログ ボックスで、新しいテクスチャに 2018 という名前を付けて [OK] をクリックします。  
2018 はテクスチャ ライブラリでアクティブなテクスチャになります。
- 14 新しい書類を作成し、[テクスチャ塗潰し] ブラシ カテゴリの [コンセプト 2.5D] バリエーションを選択し、作成したテクスチャを使って書類内でペイントします。

# Corel について

Corel は、世界トップクラスのソフトウェア会社で、そのグラフィックス、生産性向上およびデジタル メディアに関する製品は広く業界内で認知されています。非常に広範な革新的ソフトウェア製品ラインアップを誇り、簡単に使いこなすことが可能な、生産性を格段に向上させる製品を提供すると評価されています。業界では、Corel の革新性、設計、価値に対してさまざまな栄えある賞が贈られ、その功績が称えられています。

Corel の製品ラインアップには、CorelDRAW® Graphics Suite、Corel DESIGNER®、CorelCAD™、Corel® Painter®、Corel® PaintShop® Pro、Corel® VideoStudio®、Corel® WordPerfect® Office があり、世界中で何百万人ものお客様にご愛用いただいています。Corel についての詳細は、[www.corel.com](http://www.corel.com) をご覧ください。

## メディアのお問い合わせ先

Alex Brazeau

広報 PR マネージャー

Corel Corporation

613.366.3765

[alex.brazeau@corel.com](mailto:alex.brazeau@corel.com)

Copyright © 2017 Corel Corporation. All rights reserved.

Corel® Painter® 2018 レビューアーズ ガイド

レイアウトは CorelDRAW Graphics Suite 2017 でデザインされています

米国特許による保護 5652880; 5347620; 5767860; 6195100; 6385336; 6552725; 6657739; 6731309; 6825859; 6633305; 特許申請中。

製品の仕様、価格設定、パッケージ、テクニカルサポート、情報（以下「仕様」）は、販売用英語版のみについてのものです。他のすべてのバージョンの仕様（他言語版も含む）は異なる可能性があります。

情報は、明示・黙示を問わずその他一切の保証または条件（市販可能な品質に関する保証、適正品質に関する保証、または商品性・特定用途への適合性等の保証、あるいは、法律その他の法令、取引慣行、取引過程等により発生するものを含むがこれに限らない）を伴わずに Corel 社によって「現状有姿」ベースで供給されるものとします。提供される情報の運用およびその結果に関する全リスクはお客様が引き受けるものであり、Corel 社は、お客様およびその他いかなる個人または法人に対しても、間接損害、付帯損害、特別または偶発的損害（売上または利益の喪失、データの滅失または損傷、その他の商業的または経済的な損害を含むがこれに限らない）につき一切責任を負わないものとします。前述のような損害の可能性につき当社が連絡を受けていた場合、あるいはそのような損害が予測可能であった場合も同様とします。また、Corel は第三者によるいかなる請求についても責任を負いません。Corel が支払う債務の総額は、お客様が本製品の購入に際して支払った金額を超えないものとします。国によって偶発的損害もしくは付帯損害について債務の除外または制限が認められないことがありますが、その場合には、前述の限度はお客様には適用されません。

Corel、Corel ロゴ、CorelDRAW、Corel DESIGNER、MotionStudio 3D、PaintShop Pro、Painter、VideoStudio、および WordPerfect は、カナダ、米国、およびその他の国における Corel Corporation とその子会社の商標または登録商標です。

その他の製品名、フォント、および会社名とロゴは、それぞれ該当する会社の商標または登録商標です。

アートワーク：Simon Haiduk